

福島県三島町
広報

平成 27 年 1 月 9 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

2015

January
睦月

1

No 262

みしま

「良い年になりますように」

願いを込めて除夜の鐘 西方 西隆寺





自治功労表彰を受けた皆さん。(写真右から) 森田勝さん、諏訪典子さん、小柴ヨシノさん、佐藤朋義さん、二瓶新永さん

自治功労表彰

新年名刺交換会並びに自治功労表彰式は1月5日、町民センターで行われ、功労のあった次の方々に、二瓶町長から表彰状と記念品が贈られました。

◆功労表彰

【スポーツ推進委員】

菅家 豊子様 (間方)

【消防団員】

小林 秋吉様 (大登)
森田 勝様 (川井)

【元町職員】

諏訪 典子様 (大谷)

◆顕彰表彰

【総務大臣表彰】

小柴 ヨシノ様 (西方)

【社会教育功労者 文部科学大臣表彰】

佐藤 朋義様 (宮下)

【東北経済産業局長表彰 功労賞】

二瓶 新永様 (大登)



町民センターで行われた新年名刺交換会並びに自治功労表彰式



1月

目次

2 当町が県知事賞

ふくしまの元気！応援CM大賞 2014

3 自治功労表彰

4 年頭の挨拶

6 TownNews8 みしまの出来事

元気でまっせ体操教室 / おばあちゃんの味 / 三島小6年生が議会を見学 / 三島小6年生「租税教室」 / ふるさとの香りを発送 / 地区座談会開催 / 保育所にサンタのプレゼント / 田舎暮らし体験ツアー

8 町民記者通信

松原地区新そば会 / 滝谷健康を守る会で減塩食の調理実習 / 大登地区で蕎麦会

9 二瓶新永さんに東北経済産業局長表彰 / 三島小が税務署から感謝状 / 東北電力(株)からLED 蛍光灯寄贈 / ご寄附

10 民話 第46話 手鞠歌

夢ポケット Book Review

11 こんにちは。協力隊です。Vol.15

三島町学校支援本部に文部科学大臣表彰 / 佐藤朋義さんに社会教育功労者表彰

12 高額療養費制度の変更のお知らせ

13 個人住民税の特別徴収義務者の一斉指定について

14 会津坂下警察署から / 会津坂下消防署 三島出張所から / ほか

15 県立宮下病院から / 保健・子育て・健康づくり予定 / 地域ふれあいサロン予定 / 町の人口と世帯

16 三島保育所入所のご案内 / 平成27年度三島町奨学生募集

17 山びこで映画上映のお知らせ「そして父になる」

18 高齢者自立支援住宅完成



公開審査において受賞が決まり、喜ぶ当町メンバー。その収録番組は12月28日にKFBで放送された。

当町が福島県知事賞

KFB東邦銀行

ふくしまの元気！応援CM大賞2014

「KFB東邦銀行ふくしまの元気！応援CM大賞2014」において、当町が第2位に当たる福島県知事賞を受賞しました。

このコンテストは、県内市町村を対象として、地域に元気や活力を提供することを目的に15秒CMを募集するもので、今年度は38市町村が参加しました。

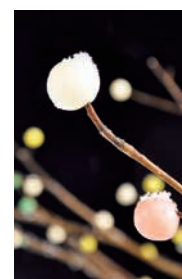
受賞したCMは、大登地区のサイノカミを撮影、編集したもので、厳しい寒さの中で団結する姿や、家族が寄り添う情景で「郷土愛」を表現しました。審査では「町を愛する気持ち」が伝わった。映像も美しく、ナレーションも素晴らしい」と評価されました。副賞としてKFBで50回放送されます。

福島県大沼郡三島町 みしままち



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,826人(12月1日現在)



新年明けましておめでとうございます。皆さまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

町全体で力を結集し課題に立ち向かう。

新年、明けましておめでとうございます。

平成27年度は、地方創生法をもとに策定される総合戦略と、第四次三島町振興計画の後期基本計画の策定と重要な年となります。より実効性があり、効果が見える計画となるよう、町民の皆様のご意見を頂きながら、職員一丸となつて取り組んでまいります。

安全・安心な基盤づくりでは、地区集会所の耐震診断の結果を踏まえ、地区集会所の耐震化改修を実施するほか、町民一人ひとりの日頃の防災への心構えや、相互の助け合いなど、防災意識の高揚を図ります。若者定住対策では、風評

被害対策を観光や農業面で引き続き取り組んでまいります。農業面では、今年度

農業法人を立ち上げ、施設整備を進めながら、農地荒廃の防止に努め、若者の就農、会津桐の生産を中心となつて進めます。

観光面では、今年四月から六月にかけての「ふくしまステイネーションキャンペーン」に向けて、観光協会の充実強化を図りながら交流促進に努めます。

雇用促進では、県の緊急雇用創出事業の継続が未確定である中、町の起業支援・雇用創出事業の充実を図り、併せて、町内事業所の経営強化を促し、安定した雇用の形成を目指します。

また、定住のため町営住宅の整備に取り組んでいるところですが、子育て世帯用として今年度の入居開始を目指しています。以後、単身者用住宅、宅地造成に取り組み予定です。

高齢者支援住宅についても、今後、この住宅を活用し、いつまでも元気で自立した生活が送れるよう、ソフト面の充実を図り、高齢者の方にとって安心できる町づくりを進めます。

教育関連については、小学校で一部、複式学級となりましたが、変わらない教育環境づくりのための施策や、学校支援地域本部事業を継続していくほか、ハード・ソフト両面で、教育環

境の整備に努めます。

「過疎・高齢化」とマイナスイメージが先行しておりますが、周囲の豊かな資源に目を向け、前向きに暮らしを考え、活動する姿は、次の可能性を秘めた、町づくりの大きな方向性と捉えております。

課題が多いのも実状ですが、町民の方をはじめ各種団体、議会、町が知恵を出し合い、力を結集し課題の解決に向けた事業実施に努めてまいります。

結びに、町民の皆様のご健康とご多幸、そして、町をはじめ世の中が、災害や事件、事故のない穏やかな一年でありますことをお祈りし、年頭のご挨拶とします。

企画力・実行力を充実し地方創生事業に取り組む。

新年明けましておめでとうございます。平成27年の新春を迎えるに当たり、町議会を代表してごあいさつを申し上げます。

常日頃、町議会に対してご支援ご協力を頂いていることに、衷心より感謝とお礼を申し上げます。町民の皆様が安全で安心して暮らせるような、町の生活基盤の整備が年々充実をみているところであります。

平成26年を振り返りますと、異常気象で日本各地で大きな災害が起きている中で、当町では大きな災害がなく、安全・安心に暮らせた一年であったと思います。が、昨年12月に爆弾低気圧

の発生による大雪で、豪雪対策本部を立ち上げ、対策を講じました。

今、町は昨年からの懸案事項である農業法人の設立に向けて、12月議会定例会において、予算を可決しましたが、その詳細については未定となっています。その他、会津桐の再生、編み組細工の技術の伝承、原材料の確保、美坂高原の運営、また、事業の資金源だった緊急雇用創出事業の継続が厳しい状況になっていることなど、課題は山積しています。

これらの課題に対して、今後どのような対策を講じればよいのか判断が求めら

れています。

一方、国では、東京一極集中ではなく、地方を元気にし、若者定住や雇用の場をつくり、人口増加をはかる地方創生事業が進められることになりました。

平成27年度から5か年の総合戦略を決定し、実行段階に入る地方創生事業は、それぞれの自治体の実情に応じた政策を企画し、実行することにより、使途の自由度が高い交付金が交付されるそうです。

平成27年度は地方創生の年であり、町の懸案事項の解決にあたり、より特色ある町づくりを実施するために、企画力が問われる年に

三島町長
二瓶隆司

三島町議会議長
小柴修一



恒例のもち作りを行った西方地区の皆さん。「ふるさとの香り」の箱には、お母さんたちの真心も詰められた。



ふるさとの香りを発送しました 特別町民の 134 世帯へ

地場産品などの詰め合わせ「ふるさとの香り」が、134 世帯の特別町民へ届けられました。町観光協会が町の委託を受けて 12 月末に発送しました。今回の詰め合わせには、恒例のもち、山菜加工品などのほか、奥会津温泉郷協議会発行の 2015 年奥会津歳時記カレンダーを入れました。もちは西方地区の皆さんが毎年作っており、特別町民の皆さんのお正月の食卓に上がることを思い描きながら、丁寧に詰められました。

町政について報告、意見交換 町内 15 か所で地区座談会開催される

地区座談会は 11 月から 12 月にかけて、各地区の集会所で開かれました。町からは二瓶町長をはじめ、教育長、各課長等、地区担当職員が出席しました。座談会では振興計画(地区計画)や、防災対策、地区要望の取組状況などについて説明した後、出席した町民の方からの質問や要望を受けました。町では地区座談会での意見や要望を踏まえ、平成 27 年度の事業計画と予算編成を行います。



浅岐地区で行われた地区座談会

保育所にサンタがやってきた 三島町商工会が子どもたちにプレゼント

サンタクロースやトナカイに仮装した三島町商工会青年部の皆さんが、12 月 23 日の夜に保育所に通う子どもたちの家を訪れ、プレゼントを手渡しました。また、同月 25 日には保育所で子どもたちにプレゼントの人形を手渡しました。

このクリスマスプレゼントは三島町商工会青年部が町民ゴルフのチャリティー金を用い、子どもたちの健やかな成長を願って毎年行っているものです。



保育所に訪れたサンタクロースを囲む子どもたち

編み組細工を体験 町観光協会の田舎暮らし体験ツアー

今年度の 6 回目の田舎暮らし体験ツアーは 12 月 6 日・7 日に行われ、県内外から 14 人が参加しました。今回は交流センター山びこで奥会津編み組細工を体験しました。五十嵐光榮さん(滝谷)、目黒政榮さん(滝谷)、菅家藤一さん(間方)から編み方を教わりながら、マタタビのザルなどを作りました。

参加者はのんびり館に宿泊し、夕食にこづゆや山菜料理などの郷土料理を堪能するなど、田舎の魅力を満喫しました。



参加者の皆さんは編み方を習いながらザルを完成させた。

生きている限り筋力は強くなる 元気でまっせ体操教室

元気でまっせ体操教室は 11 月 26 日、町民センターで行われ町内外から多くの方が来場しました。

「元気でまっせ体操」は大阪府大東市の職員で理学療法士の逢坂伸子さんが発案したもので、介護状態にならない介護予防のために大東市では広く普及しています。逢坂さんは「死ぬまで筋力は強くなります。多くの方が長い生きする時代です。元気に動けることが一番大切です」と話しました。



DVDをみながら「元気でまっせ体操」を一緒に実践

きな粉も手作り 恒例のおばあちゃんの味

三島小児童たちが郷土料理を体験する恒例の「おばあちゃんの味」は 12 月 10 日、町民センターで行われ、5 年生 11 人が参加しました。老人クラブ女性部の皆さんに習い、きなこおはぎ、ほうれん草のじゅうねん和え、筑前煮、せんばん炒り、大根の白和えを作りました。

出来上がると昼食会を開き、5 年生のほか 4 年生と 2 年生も一緒に味わいました。



おばあちゃんに教わりながら、大豆をひいて粉にする様子

議会の様子を知る 三島小 6 年生が議会を傍聴

三島小 6 年生の児童たちは 12 月 12 日、町議会の 12 月定例会を見学しました。児童たちは初めて議場に入ると、議員や町職員の緊迫した雰囲気、少し緊張した様子で傍聴席に座りました。議場では一般質問で議員の質問に答弁する町職員の様子を真剣に見学しました。

児童たちにとっては、難しい言葉もあったようですが、議会を少し身近に感じる機会となったようです。



緊張した様子で見学する三島小の 6 年生たち

税金について学ぶ 三島小 6 年生「租税教室」

三島小 6 年生の租税教室は 12 月 1 日に行われ、町民課職員が税金について説明しました。児童たちは、消防や警察、ゴミ処理、道路や橋の建設など、生活に欠かせないものが税金で成り立っていることを学びました。

児童たちは小学校入学から卒業までに、1 人に対して 500 万円の税金が使われていることに驚きながらも、税金の意義とお金の大切さを感じていたようです。



役場の職員から消費税などの税金について学んだ

二瓶新永さんに東北経済産業局長表彰

2014.12.1



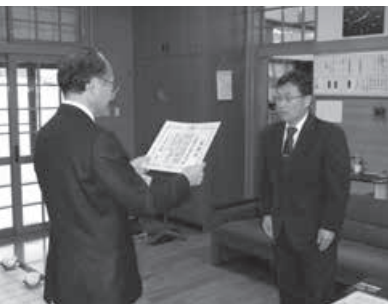
二瓶新永さん（大登）に、東北経済産業局長から伝統的工艺品功労者に対する表彰状が贈られました。

二瓶さんは平成8年度から平成25年度まで18年間「ものづくり教室」での講師として指導にあたるなど、伝統的技術・技法の継承及び向上に貢献されてきました。

12月1日、二瓶さんは町長室を訪れ、受賞を報告しました。

三島小が税務署から感謝状 租税教育の功労

2014.11.13



三島小に会津若松税務署長から感謝状が贈呈されました。

これは国税庁が推進している租税教育に対して、特に功績のあった教育機関に贈られたものです。

11月13日会津若松税務署の和田豊署長が三島小を訪れ、三星了一校長に感謝状を手渡しました。

ご寄附 ありがとうございました

ふるさと納税（町へのご寄附）

五ノ井 俊 郎 様（会津若松市）

佐 藤 保 様（埼玉県さいたま市）

（株）ソクラテス 代表取締役 佐藤 保 様
（埼玉県さいたま市）

佐々木 純一郎 様（青森県藤崎町）

酒 井 哲 郎 様（沖縄県那覇市）

町社会福祉協議会への寄附

ご遺志によるもの

飯 塚 国 英 様（大石田）

山ノ内 俊 明 様（滝 谷）

長 郷 寅 二 様（会津若松市）

山 内 文 克 様（西 方）

東北電力(株)会津若松支社から LED蛍光灯寄贈

2014.11.28



東北電力(株)会津若松支社から地域の安全・安心な街づくりのために、LED蛍光灯10灯が寄贈されました。

11月28日に東北電力(株)会津若松支社の春浪隆夫支社長が二瓶町長に目録を手渡しました。

町民記者通信



香り高い新そば会

文・写真 町民記者 佐々木 邦雄さん（桧原）

12月7日、恒例の桧原地区新そば会が桧原多目的集会所で開かれました。「四季の会・ボランティア桧原」が主催し、地区のそば打ち名人が自慢のそばを振る舞いました。けんちんそば・ざるそば・ヤマドリそばのほか、あんもち・つゆもちなど、多くの手料理のおもてなしを堪能し、主催者の皆さんによる、笑いあいの「そば口上」でおおいに場が盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。



滝谷健康を守る会で減塩食の調理実習

文・写真 町民記者 目黒 民一さん（滝谷）



12月7日、滝谷健康を守る会（会長 目黒常廣さん）では、健康づくり事業の一環として食生活改善調理講習会を開催しました。

今年は「楽しくおしゃべり、そして食べて心も元気に！」をテーマに、減塩食の調理実習を行い、試食をしました。

参加した21人の会員の皆さんは毎日の食事に欠かすことのできない「塩」についてあらためて考える貴重なひと時を和気あいあいとした中で過ごしていました。

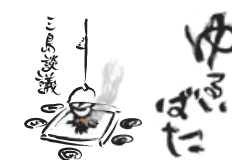
蕎麦口上で世代間交流

文・写真 町民記者 角田 陽市さん（大登）

12月7日、長寿会、地区ボランティア「さつき会」の合同による毎年恒例の「蕎麦会」が大登生活改善センターにおいて会員多数の参加のもと行われました。角田クニ子さんはじめ4人の若手（？）による蕎麦口上も登場し、会場から盛んな拍手が送られ大いに盛り上がりしました。

この日は、会員以外にも地区の高齢者が招待され、参加者は会員の手打ちによる蕎麦、料理に舌鼓を打ちながら、今年一年の活動を振り返り、健康に感謝するとともに、交流を深めていました。

朝早くから準備頂いた役員・会員の皆さん、大変お疲れ様でした。



町民記者通信は、交流センター山びこのホームページ「ゆるいばた」にも掲載していますのでご覧ください。<http://www.yuruibata.jp/>

民話



第46話
手鞠歌

伝承者
故小柴ミヨノさん（西方）

◎ひとつ

おらが殿様
おらが殿様焼き餅すきで
ゆうべ九つ今朝また七つ
ひとつ残してたもとにいれて
馬に乗るとてぽつとらしよと落とす
馬はたまげてカラスにくれて
カラスカーカーいやゝいほゝほと
いっちよつた

◎ふたつ

たんたん滝の水
たんたん滝の水
明日は蓮華の花ひゝらき
とつてもこい
ようすいむかいの
お山のちようちん花
咲いたか咲かぬか
わしゃ知らぬ
いっちよつた

◎みつ

ちりんすどんす
あゝやの茶屋のちりこぶもりの
松坂茶屋のいさん達が
なにして通る お化粧で通る
通らば 呼んでこい
呼ぶひまござらん
ぐるゝつとまわって いっちよつた

◎よつつ

おぼこおぼこは
おぼこおぼこはよいおぼこ
隣のおぼこもよいおぼこ
木綿かっぱに茶の小袖
野良にも山にもねてみたが
松葉にさされて目がさめた
ここはどこよと思つたれば
鎌倉街道の森のした
森から続いて諏訪のまち
諏訪の町から何こうた
一に香箱 二に硯
三にさらさの帯こうた
誰にくりようとうて来た
おまんが死んで今日七日
それがうそなら行つてみる
行つてみたれば おまんがあたり
松三本 杉三本 あわせて六本
街どのスズメで 田舎のスズメで
あがつたり 下がつたりで
いやゝい ほゝいと いっちよつた

こんにちは。協力隊です。

Vol.14

三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎



新年あけましておめでと
うございます、今年もよろ
しくお願いいたします。
さて、ちょうど1年前の
広報で、よそから来た自分
にとつて「寒さ」と「雪」が、
三島町で暮らしていくため
に受け入れて乗り越えなく
てはいけないハードルだと
書きました。
実際に1度冬を越してみ
ての感想として、もちろん
どちらも大変だったのです
が、昨年度はどちらかとい
うと「寒さ」のほうが大変
だと感じました。具体的
には水道が凍結したり、室内
の気温が氷点下になったり
と、三島町の「寒さ」の洗
礼をいくつも受けました。
一方「雪」のほうは、11
月から降ることや人生で初
めての雪の量に驚き、最初
の衝撃という点ではこちら

のほうが上でしたが、雪と
ともに過ごしていくうちに
慣れていき、日常として受
け入れられるようになって
いきました。
今年度は12月のうちに何
度か大雪が降り、家の周り
でも雪の捨てる場所が無く
なり大変になってきましたが、
それでも2年目ということ
で少しだけ余裕を持つて対
応できていると思います。
また、12月の雪と例えば
「ホワイトクリスマス」が思
い浮かび、地元でいた頃は
クリスマスに雪が降つたら
いいなと柄にもないことを
考えることもありました。
しかし、去る12月25日は雪
が降っていてまさに「ホ
ワイトクリスマス」でしたが、
すぐにはそのことに気づか
ず、大して感慨深くなるこ
ともありませんでした。そ

れほどまでに、自分にとつ
て雪があることが当たり前
になっていたのです。
また、少し余談になりま
すが、「ホワイトクリスマ
ス」の定義はクリスマスに
積雪があることで、降雪だ
けでは駄目なようです。そ
のため、地元の埼玉のほう
では雪が降るだけでも滅多
にないことなのに、さらに
クリスマスに積雪となると
本当に奇跡的な確率とな
り、実際に過去50年間東京
で「ホワイトクリスマス」
だったことは1度もないそ
うです。
そう考えると、そんな向
こうでは奇跡のような状況
を今では当たり前なことと
思ってしまうようになった
ことが、自分が三島町の一
員となった証なのではない
かと感じました。

三島町学校支援本部に 文部科学大臣表彰

2014.12.8

三島町学校支援本部による「桐の子隊」「ゆめポケットクラブ」「地区探検」などの事業について、平成26年度の優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。



表彰状を受け取った学校支援地域本部
コーディネーターの小柴奈穂美さん

佐藤朋義さんに 社会教育功労者表彰

2014.12.5

平成26年度の社会教育功労者に佐藤朋義さん（宮下）が選ばれ、文部科学大臣から表彰状が贈られました。佐藤さんは昭和59年から15年間三島町公民館長として、また、社会教育委員などを歴任し、地域の社会教育の発展に貢献したことが認められました。



二瓶町長に受賞の報告をする佐藤朋義さん（写真中央）



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

Book Review

●利用時間 月～土 9:00～21:00 日祝 9:00～17:00 ●お休み 年末年始 ㊦教育委員会 ☎（48）5599



宮沢賢治童話全集 11 銀河鉄道の夜

宮沢 賢治 著
岩崎書店

孤独な少年ジョバンニが友人カムパネルラと天空を旅しながら問いかける「ほんとうのさいわい」とは。魂をふるわせるような宮沢賢治の代表作「銀河鉄道の夜」他2篇



5分で落語のよみきかせ 不思議なお話の巻

小佐田 定雄 著
PHP 研究所

原作のままでは子どもにわかりにくい落語を楽しめる内容にアレンジしたり、面白い場面だけを抜き出したりして、5分程度でよみきかせできる本です。



絵で読む日本語 (上・散文編)

鶴川 昇 編・著
旺文社

小説など散文のひとつに、そのイメージを最もよく表すと思われる絵画・写真を対置させた美しい本です。

～個人住民税の特別徴収を実施していない事業主の皆さんへ～

個人住民税の特別徴収義務者の一斉指定について

県と町では、県内における個人住民税の特別徴収を推進するため、対象となる事業主の皆さんを特別徴収義務者として、一斉に指定する取り組みを実施していくことにしました。

会津地区では平成 27 年度から実施する予定です。

「所得税は源泉徴収しているけれど個人住民税は徴収していない」ということはありませんか？

■個人住民税の特別徴収とは、給与支払者（事業主）が、所得税の源泉徴収と同様に、個人住民税の納税義務者である給与所得者（従業員）に代わって、毎月支払う給与から個人住民税（個人市町村税と個人県民税）を徴収（差引き）し、納入してもらう制度です。

■地方税法第 321 条の 4 及び町の条例の規定により、所得税の源泉徴収を行う給与支払者（事業主）は原則としてすべての特別徴収義務者として個人住民税を特別徴収（毎月徴収）することが義務付けられています。

毎年 5 月に特別徴収義務者（事業主）あてに「特別徴収税額決定通知書」を送りますので、通知された税額を毎月の給与から徴収し、翌月の 10 日までに金融機関を通じて、従業員の住所地の市町村ごとに納入してもらいます。

◆個人住民税の特別徴収 Q & A

Q 1. 特別徴収は新しい制度ですか？

A. 地方税法では、従来から所得税を源泉徴収している事業主（給与支払者）は、従業員の個人住民税を特別徴収しなければならないと定められています。

従業員が前年中に給与の支払いを受けていて、当年の 4 月 1 日現在給与の支払いを受けている場合には事業主は特別徴収しなければならないことになっています。

Q 2. 今から特別徴収に切り替えると、手間がかかりませんか。また、特別徴収をすることで何かメリットはありますか。

A. 個人住民税の特別徴収は、所得税のように、税額を計算したり年末調整をする手間はかかりません。

税額の計算は給与支払報告書等に基づいて町で行い、事業主宛に従業員ごとの個人住民税額が通知されます。その税額を毎月の給与から徴収（差引き）し、合計額を翌月の 10 日までに、金融機関を通じて各市町村に納めてもらうことになります。

特別徴収をすると、従業員の方が金融機関へ納税に出向く手間を省くことができ、納め忘れの心配がありません。さらに、普通徴収の納期が原則として年 4 回であるのに対し、特別徴収は年 12 回なので従業員（納税義務者）の 1 回あたりの負担が緩和されます。

☎ 県会津地方振興局県税部 ☎ 0242 (29) 5241
役場 町民課 ☎ (48) 5555

国民健康保険加入者のみなさんへ

高額療養費制度の変更のお知らせ

平成 27 年 1 月から 70 歳未満の人の高額療養費制度の限度額が変更となります。

高額療養費制度の限度額とは

1 ヶ月に窓口で支払った医療費の額が一定額を超えたとき、申請することにより超えた分が「高額療養費」として支給されます。

70 歳未満の方の自己負担限度額（月額）

【旧】平成 26 年 12 月まで

区分	自己負担限度額（年 3 回まで）	4 回目以降
上位所得者	150,000 円 + (医療費 - 500,000 円) × 1%	83,400 円
一般	80,100 円 + (医療費 - 267,000 円) × 1%	44,400 円
住民税非課税世帯	35,400 円	24,600 円

・上位所得者：国保税算定の基礎となる基礎控除後の総所得金額の合計（世帯内の国保加入者全員の合計）が 600 万円を超える場合。

※所得の申告をしていない人は上位所得者扱いとなります。

・一般：上位所得者と住民税課税世帯以外の場合。

・住民税非課税世帯：世帯主とすべての国保加入者が住民税非課税の世帯

【新】平成 27 年 1 月から

平成 27 年 1 月から			
区分		自己負担限度額（年 3 回まで）	4 回目以降
基準総所得	901 万円超	252,600 円 + (総医療費 - 842,000 円) × 1%	140,100 円
	600 万円超 901 万円以下	167,400 円 + (総医療費 - 558,000 円) × 1%	93,000 円
	210 万円超 600 万円以下	80,100 円 + (総医療費 - 267,000 円) × 1%	44,400 円
	210 万円以下	57,600 円	44,400 円
住民税非課税世帯		35,400 円	24,600 円

※基準総所得額＝前年の総所得額等－基礎控除 33 万円

※過去 12 ヶ月の間に、高額療養費該当月が 3 回以上ある人は 4 回目以降の限度額が引き下げられます。

今回の変更は、70 歳未満の方であり、70 歳以上 75 歳未満の方の自己負担限度額は変更ありません。

70 歳以上 75 歳未満の方の自己負担限度額については広報みしま 11 月号（平成 26 年 11 月 7 日発行）をご確認ください。

保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎ (48) 5565



実施予定

4カ月児健診

1月20日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院
2月10日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

3歳児健診

1月21日(水) 13:00～ 柳津町銀山荘

足腰げんき教室

▶室内運動編

2月18日(水) 13:30～ 町民センター

心の健康相談（※事前申し込み必要）

2月17日(火) 13:30～ 福寿草
※1月26日(金)は中止となります。

【申込先】町民課 ☎ (48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成26年度健康づくり年間予定表（ピンク色の一枚刷り）から転記しています。

地域ふれあいサロン

浅岐あったかサロン

1月16日(金) 10:00～ 浅岐集会所

サロンないり

1月21日(水) 10:00～ 名入公民館

☎町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

町の人口と世帯
12月1日現在

人口	1,826	-3	出生	1
男	880	-4	死亡	2
女	946	+1	転入	2
世帯	821	0	転出	4

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

県立宮下病院から

新年のごあいさつ

黒沢 正喜 院長

昨年は、常勤医師が4人になり、地域の診療所と特養への応援を、平成24年以前の状態に戻すことができました。そして、入院患者数が前年比で大幅に増えました。

昨年の5月から、整形外科の外来日に合わせて、隔週で、昭和村に送迎バスを出しました。大勢の皆さまに利用して頂いています。

肺がんの早期発見をめざして低線量CTによる肺がん検診を始めました。肺がんは、がんによる死亡原因の第1位です。たばこを吸わなくてもなります。50歳以上の方は、是非受けてみてください。

今年は、病棟の耐震補強工事が始まります。騒音や振動等により外来および入院患者様に御不便、御迷惑をかけるかもしれませんが、御理解、御協力をお願いいたします。工事の日程については、後日、お知らせいたします。

今年も、以前に増して診療所や特別養護老人ホームとの良好な関係を維持し、地域の皆様に利用していただける病院を目指して、職員一同努力してまいります。

今年一年が、皆様にとって良い年でありますように。

県立宮下病院看護師募集

県立宮下病院では平成27年4月1日付け採用の看護師を募集しています。

◆受験資格

昭和50年4月2日以降生まれで、
看護師免許を有するか取得見込みの方

◆試験日程

1月31日(土) 教養試験・適正検査
2月1日(日) 口述試験

◆応募締切 1月26日(金) ※応募書類必着

◆試験会場 福島県自治会館（福島市中町8-2）

◆募集人員 若干名

☎県病院局 病院経営課 ☎ 024 (521) 7226

県立宮下病院 ☎ (52) 2321

会津職業能力開発促進センター
訓練生募集のお知らせ

◆コース名「住宅電気設備科」

◆募集締切

1月16日(金)～2月13日(金)まで

◆定員 20人

◆訓練期間

平成27年 3月 3日(火)～

平成27年 8月27日(木)まで

◆対象者

公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方。

◆受講料 無料

◆選考日 平成27年2月17日(火)

※施設見学会(キャリアアップガイダンス)を1月13日(火)、26日(金)、2月9日(月)の9:30～12:30に行います。

☎会津職業能力開発促進センター

☎ 0242 (26) 0520 FAX 0242 (26) 1585

テクノアカデミー会津
在職者訓練のお知らせ

◆コース名「TOEIC スコアアップ講座」

◆内容 TOEIC のスコアアップを目指す

◆日時 2月9日(月)・10日(火)・12日(木)
13日(金) (計4日間)
16:30～19:30

◆費用 受講料 3,100 円
テキスト代 3,024 円

◆場所 テクノアカデミー会津

◆定員 5人

◆申込締切 1月26日(月)

◆申込方法

受講申込書に記入し、下記住所へ郵送、持参、もしくはFAXで送信してください。
(「受講申込」は、http://www.tc-aizu.ac.jp/ からダウンロードください)

☎テクノアカデミー会津

〒965-3527 喜多方市塩川町御殿場 4-16

☎ 0241 (27) 3221 FAX 0241 (27) 3312

会津坂下消防署三島出張所から

1月26日は文化財防火デー

毎年1月26日は、「文化財防火デー」です。文化財防火デーは、昭和24年1月26日に修理作業中だった法隆寺金堂が電気座布団のスイッチの切り忘れから出火、炎上し、壁画が焼損したことや1年のうちで1月と2月が最も火災が発生しやすい時期であることにちなんで制定されました。

三島町においても文化遺産が数多くあります。その多くは木や紙、布など燃えやすい素材で作られているため、所有者や管理者はもちろん、周辺の皆さんも火の取り扱いには十分注意しましょう。

1月15日まで

年末年始特別警戒中です

☎会津坂下消防署 三島出張所

☎ (52) 3032

国民年金基金制度のご案内

国民年金基金は、自営業、農業などの国民年金の第一号被保険者の方々がゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乗せする公的な年金制度です。加入は任意で様々な年金のタイプから現在の状況や将来設計にあわせて選ぶことができます。

◆加入できる方

国民年金に加入している20歳以上60歳未満の方及び60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方

※掛金は全額社会保険料控除、受け取る年金公的年金等控除の対象になり、税制面で優遇されます。また、年金受給や保証期間内にお亡くなりになった場合、ご家族に一時金が支払われます。

☎福島県国民年金基金

☎ 0120 (65) 4192

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯(11月) **0**件

危険ドラッグは本当に危険です

最近、「合法ハーブ」等と称して販売される薬物（危険ドラッグ）を吸引し、呼吸困難を起こしたり、死亡したりする事件が全国で相次いで発生しています。

「合法ドラッグ」「脱法ハーブ」などと称して販売されるため、あたかも身体影響がなく、安全であるかのように誤解されていますが、大麻や覚せい剤などと同じ成分がふくまれており、大変危険で違法な薬物です。

◎何が危険なの？

危険ドラッグは成分や含有量が商品によってまちまちであり、吐いたり、意識を失ったり、暴れたりなど、何が起るか予測不能です。病院に搬送されても、成分が分からないため適切な治療が出来ないこともあり、最悪の場合は死に至ることもある危険な薬物です。

◎罰則はあるの？

指定薬物を含む危険ドラッグを輸入・製造・販売・使用・所持等した場合「3～5年以下の懲役または300～500万円以下の罰金」

◎危険ドラッグは絶対に「持たない」「もらわない」「買わない」「使わない」

街頭犯罪発生件数(1月～11月)

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい	8	2
忍 び 込 み	10	3
事務所荒らし	1	
出店荒らし		
自動車盗	1	
オートバイ盗		
自転車盗	13	
自販機ねらい		
車上ねらい	1	
ひったくり		
部品ねらい	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	35	5
全 刑 法 犯	111	8

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

三島保育所

入所のご案内

平成27年度の入所申し込みを受け付けます。

●保育の実施基準

- 児童の保護者が次の①～⑪のいずれかに該当し、児童を保育することができないと認められる場合で、かつ同居の親族等が当該児童を保育することができないと認められる場合に行うものとします。
- ① 居宅外で労働することを常態としてしていること。
 - ② 居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としてしていること。
 - ③ 妊娠中または出産後間がないこと。
 - ④ 疾病にかかり若しくは負傷し、または精神若しくは体に障害を有していること。
 - ⑤ 長期にわたり疾病の状態にあるか、または精神若しくは

くは体に障害を有する同居の親族を常時介護していること。

⑥ 震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。

⑦ 求職活動（起業の準備を含む）を断続的に行っていること。

⑧ 就学していること。

⑨ 虐待または配偶者からのDV（家庭内暴力）のおそれがあること。

⑩ 育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること。

⑪ 町長が認める前各号に類する状態にあること。

●対象者

三島町に住所を有する小学校入学前の乳幼児

※平成27年度の途中入所を予定されている方もお申し込みください。

●保育時間

午前8時30分から
午後4時30分まで

※土曜日は午後0時30分まで
ただし特別な事情がある場合は、早朝・延長保育を実施します。

午前7時30分から
午後6時00分まで

●保育料

保育料は保護者の所得税額または町民税額を基準として決定します。

●提出書類

- ① 保育所入所申込書
- ② 就労証明書
（用紙は保育所および教育委員会事務局で配布しています）

●入所申込締切

1月30日（金）

【申し込み・お問い合わせ】

三島保育所

☎（48）5501

教育委員会

☎（48）5599

平成27年度

三島町奨学生募集

町では、高等学校、大学、高等専門学校、専門学校等の学生を対象に、三島町奨学生を募集します。希望される方は期日までに
出願手続きをお願いします。

●貸与資格

- ① 学生または保護者が引き続き1年以上三島町に住所を有する者
- ② 品行が正しく、学術に優れ、健康である者
- ③ 経済的理由により就学困難と認められる者

●奨学資金の額（月額）

大学生 3万円以内
その他 2万円以内
いずれも無利子です。

●貸与期間

進学する学校の正規の修業期間

●償還期間

就職6カ月後から月賦で6年以内での償還となります。

●出願手続き

奨学生願書、奨学生推薦書を、平成27年2月23日（月）までに役場総務課へ提出してください。
（用紙は同課で配布しています）

【出願・お問い合わせ】

役場 総務課

☎（48）5511

映画 そして父になる

第66回カンヌ国際映画祭審査員賞受賞



© 2013 「そして父になる」制作委員会

◆監督
是枝裕和
◆キャスト
福山雅治
尾野真千子
真木よう子
リリー・フランキー
二宮慶多
黄升炫
中村ゆり
高橋和也
田中哲司
井浦新
吹雪ジュン
國村隼
樹木希林
夏八木勲

山びこで上映

入場無料

1月31日（土）

▼午後1時30分／▼午後6時／

※2回上映します。

会場 ●交流センター山びこ

イベントホール

『6年間育てた息子は

他人の子でした。』



6歳になる息子は、病院で取り違えられた他人の子だった。人生に勝ち続けてきたエリートの子に突然降りかかった事件。実の子か育てたのか、迫られる無情な選択。
「血のつながりとは、家族とはいったい何？」と魂に深く問う、衝撃の物語が幕を開ける。
それぞれの形で、6年の歳月を抱きしめるふたつの家族。はたして新たな絆は生まれるのか？
事件の行方を追いながら、いつしか観客は物語の内側に入り込み、主人公たちと共に考え、苦悩する。
そして観た者の心の中で、彼らの人生は続いていく。忘れることなど決してできない、強く優しい感動と共に。

③DVDの上映ですので、三島町交流センター劇場で見る映像より質が劣りますがご了承ください。

山びこ

☎（52）2165

高齢者自立支援住宅が完成



1

5部屋に6人が入居

引き続き入居者を募集しています

高齢者自立支援住宅が平成26
12月に完成しました。

内覧会は12月10日に行われ、
多くの方々が施設を見学しまし
た。参加者らは、新しい木のに
おいが漂う施設内の様子を見て
まわりました。

この住宅は利用する高齢者の
自立を支援し、町で変わらずに
生活を送れるようにする事を目
指して建てられたものです。

施設は木造平屋建て、全8室
あり、各部屋は定員2名で最大
16人の入居が可能です。間取り
は2DK (和室4.5畳、洋室6
畳、キッチン、バス、トイレ、押入
です。昨年末の時点で5部屋に
6人が入居しました。

高齢者自立支援住宅は引き続
き入居者を募集しています。詳
しくは役場町民課までお問い合
わせください。

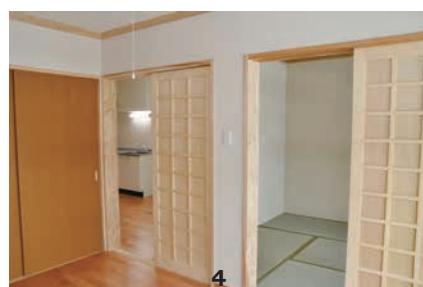
役場町民課 ☎ (48) 5565



2



3



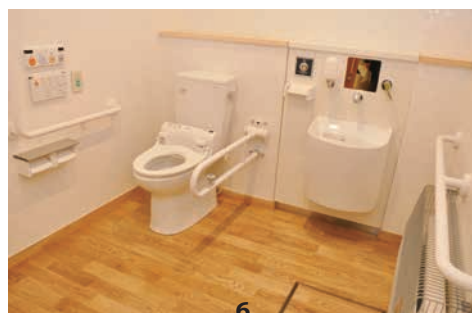
4



～間取り図～



5



6

1_ 高齢者自立支援住宅の外観 2_ 廊下をはさみ8部屋が並ぶ 3_ 各部屋にはオール電化の電磁式調理式が設置されている 4_ 6帖の洋間から和室とキッチン撮影 5_ 12月10日に行われた内覧会の様子 6_ 多目的トイレ